

金武町議会報



きん乙ん

第140号

発行：平成27年3月2日

均 霈



主な内容

一般質問	2～13P
安富 信武／大城 一之／与儀 実栄／嘉数 義光／池原 政文	
吉野 潤／外間 慎仁／仲間 政治／伊芸 政男／仲間 昌信	
崎浜 秀幸／大城 政光	
平成26年第6回定例会議決結果	14P
議員研修報告	15P
その他・傍聴案内	16P

金武町公式ホームページ <http://www.town.kin.okinawa.jp>

平成26年第6回 定例会

一般質問

(※質問順に掲載し、質問・答弁は要約)



安富信武 議員

ディジャヤとの契約

第1工区フェーズ1は、26年度着工となっているが

町長 平成26年6月25日に(開発)許可され、現在、造成工事に着手している。

安富議員 前町長とディジャヤ

ヤランド・デペロップメントの代表者との間で土地契約書が締結されている。第1工区、フェーズ1の開発計画は26年度着工となっているが、どのような工事申

請がされているか。

仲間一町長 開発計画における工事申請については、

企業において都市計画法による開発行為許可申請を平成25年10月8日に沖縄県に提出し、平成26年6月25日に許可されている。現在は、造成工事に着手しており、年内に完成予定となっている。

安富議員 開発申請の内容、具体的には。

森山朝男基地跡地推進課長

開発許可申請は、1工区から5工区まで申請がされている。計画の概要としては、ギンバルにおいて地域の住民の雇用促進および地域の関連産業の発展につながる経済的役割を担う施設を整備する。その中に2つのホテルとレジデンス、商業

施設、コテージを整備し、国際観光の拠点となるよう整備していきたいという内容である。

ディジャヤとの覚書

温泉掘削工事の

進捗状況は

町長 現在、約1450メートルまで掘削が進んでおり、1500メートル地点において温泉の水脈があると報告を受けている。

安富議員 前町長とディジャヤ

ヤランド・デペロップメントの代表者との間で覚書が締結されている。「第11条、甲(金武町)は本件土地のビーチ沿いの岩盤を除去し、風よけ、または障壁を建築して風水害の防止に努めることとする」とある。海岸、ビーチ整備および岩盤除去について伺う。

町長 ビーチ整備については、これまで沖縄県に対し、県の事業として取り組

んでいたかよう要請を行っている。同時に担当課である海岸防災課、北部土木事務所と情報交換を行っているところである。岩盤除去については、今後の整備方針の中で対応していきたいと考えている。

安富議員 予算規模、財源の内訳を具体的に伺う。

町長 予算規模については、概算額で約30億円を予定している。事業の内訳として、沖縄県が整備する海岸側は約20億円、町が整備する背後地については約10億円であり、沖縄防衛局の補助事業を活用した事業採択に向けて調整を行っている。事業調整により、今年度、沖縄県のほうで海岸整備における規模算定等の業務を行う予定であり、地域住民や観光客に安全で快適な場として活用できるように、事業実施に向け取り組む。

安富議員 「第13条、甲は乙または乙が指定する者に対し本件土地の温泉の利用

権を認めるものとする」とある。温泉掘削工事の進捗状況について伺う。



温泉掘削の様子

町長 温泉掘削工事については、平成26年3月5日に着手しており、深度1500メートルまでの掘削を予定している。現在、約1450メートルまで掘削が進んでおり、深度1200メートル地点において調査データと同様の温泉の層に遭遇しており、最終的には1500メートル地点においても温泉の水脈があるという報告を受けている。



大城一之 議員

ギンバル訓練場
跡地利用計画

地域医療施設
開設のめどは

町長

中部圏域の医療法人から事業計画、収支計画等を提出したいとの申し出を受けている。

大城議員 本年4月から開設しているフィットニングセンター、ヘルスケアセンター、海洋療法リハビリセンターの上半期の営業実績について伺う。

仲間一町長 フィットニングセンターの来客者数が549人、装具の出荷数が1263人となっている。ヘルスケアセンターは、整形

外科リハビリ部門の延べ利用者数が4,400人、フィットネス部門の延べ利用者数が4,905人となっている。海洋療法リハビリセンターは、延べ利用者数が1,328人となっている。

大城議員 地域医療施設の現在の状況とこれまでの経緯について伺う。

町長 町はほくと会に対し、4月に開業できなかった理由の報告を求めており、7月には開業できると報告を受けた。報告を受け協議を依頼したが、理事長の出席がなく協議が成立しない状況が続いたため、関係機関に確認を行ったところ、業務改善指導が完了しておらず、開業のめどが立たない状況であった。6月30日付け通告書において、7月中の開業ができない場合、協定書に基づき7月末日をもって協定解除する旨の催促をし、改めて開業に向け

た協議を依頼したが、理事長の出席がなく、協議が成立しない状況であった。町は、沖縄県医師会、医療政策課、内閣府等関係機関に状況報告を行い、協定の解除も含め、今後の対応について指導を仰いだ。10月1日に協定書の解除通知書を送付し、10月31日までに施設を明け渡すよう通知したが、11月以降もほくと会の職員が退去しない状況が続いたため、顧問弁護士を通じて、明け渡しの通知を行い、12月に施設の明け渡しを完了した。現在、町が医療機器および施設の管理を行っている状況である。

大城議員 地域医療施設の開設のめどについて伺う。

町長 現在、同施設の管理運営について、いくつかの医療法人に依頼したところであり、中部圏域の医療法人から年内に事業計画および収支計画等を提出した

いとの申し出を受けている。提出され次第、内容を精査し、手続きを経て一日も早い開業を目指し取り組む。

金武町子ども議会

開催後の評価は

教育長 子ども達からいい経験になったと聞いており、所期の目的を達成できた。

大城議員 開催状況について伺う。

比嘉賞一教育長

子ども議会開会に先立ち、11月10日に中川小学校2人、金武小学校4人、嘉芸小学校4人、金武中学校6人の子ども議会議員へ当選証書を交付したほか、議席の指定、正副議長長の選出、一般質問のりハーサルを行った。子ども議会当日は、町長はじめ町の幹部職員全員が出席し、一般質問に答弁し、その様子は、各学校、町の公共施設へ映像中継した。

大城議員 主な質問内容と答弁について伺う。

教育長 主な質問内容としては、学校や公園への遊具の設置、学校施設の修繕、小中学校児童の交流、ギンバル訓練場跡地利用などの質問を受けた。詳細については、子ども議会会議録を作成するほか、子ども議会へ参加した児童生徒の感想文を教育委員会広報のくくむに掲載する予定である。

大城議員

開催後の評価、および課題点について伺う。

教育長

評価については、子ども達から議会の仕組みについて学んだこと、一般質問ができたことはいい経験になったと聞いており、所期の目的を達成できたと考える。課題については、当局答弁に対し、小学生においても再質問ができるようになるよう取り組む。



与儀実栄 議員

喜瀬武原金武町地域億首川河川冠水被害対策

平成22年の土木事務所、恩納村、金武町の話し合いの結論は

町長 県から河川冠水被害対策のための護岸整備および狭窄部の改修について、工事概要の説明を受けている。

与儀議員

喜瀬武原金武町地域では、台風、集中豪雨時河川の氾濫によって道路や畑などに大規模な冠水被害がたびたび発生し、地域の生活環境を脅かしている。これまでの調査の状況によると、億首川下流に狭窄部があり、そこでの水流の滞

りが冠水被害の要因とされている。この問題は、平成16年に金武町長、恩納村長の両名で沖縄県知事に億首川の改善ということでも要請されている。また、平成22年金武町役場において、沖縄県北部土木事務所、恩納村長、金武町長の三者で話し合いがもたれている。そこで、平成16年の要請に対する沖縄県の回答の内容はどうなっているか。

仲間一町長

喜瀬武原金武町地域億首川河川冠水被害対策については、平成16年8月13日付け、金武町長、恩納村長の連名で沖縄県知事あて文書で要請を行ったが、文書での回答は得ていない。

与儀議員

平成22年の土木事務所、恩納村、金武町の話し合いの内容と、その内容の結論はどうなったか。

町長

平成22年度に、北部土木事務所、恩納村、金

武町の三者で協議を行い、県から河川冠水被害対策のための護岸整備および狭窄部の改修について、工事概要の説明を受けている。現在は第1期整備が完了し、第2期整備については、平成25年度から26年度で施工する計画であったが、物件補償が難航し、遅れが生じている。県は、平成27年度護岸設計、物件調査、平成28年度用地買収、物件補償を行い、平成29年度に工事を着手する計画で進めていると報告を受けている。

与儀議員

金武ダム周辺整備の中で、億首川の狭窄部の工事もあると聞いていたが。

宮里安秀企画課長

喜瀬武原の億首川の部分について、米軍施設の中に狭窄部分があり、そこに大きな岩があるということによって障害になっている。平成22年度に、米軍施設側の河川を整備しよ

米軍演習時における県道104号線の使用

協定はどのようになっているか

町長 日米地位協定により、合衆国軍隊が使用している施設および区域の間を移動できる。

与儀議員

演習時、頻繁に集落内を利用されているが、米軍との協定はどのような内容になっているか。

町長

県道104号線は公道であり、日米地位協定第5条の規定により「合衆国政府所有の車両並びに、合衆国軍隊の構成員および

軍属並びにそれらの家族は合衆国軍隊が使用している施設および区域に出入りし、これらのもの間を移動することができるとなっている。

与儀議員

金武ダムを造るときに、旧104号線沿いにある喜瀬武原ダム向かいから演習用道路が造られ、そこから象のオリに行くゲート10までの演習道路を利用させるという話があったと思うが。

企画課長

そのルートを使うということに関し、こちらには説明はない。104号線もつけかえられ便利になっているが、喜瀬武原ダムのところから象のオリのところまで施設内での道路があるので、町としてはその道路を利用するように、今後申し上げたいと思っている。



嘉数義光 議員

地域医療施設維持管理費

ほくと会への責任追及は

町長 損害について精査し、責任の追及を行う。

嘉数議員 平成26年4月1

日に医療法人ほくと会が開業できないことで、同法人と交わした協定書第7条により、町長は協定書を白紙に戻し、10月より新たな医療法人を模索する選択をした。しかし、5カ月間の設備維持管理費4649万3000円を10月28日臨時会に提出、可決された。開業できなかった原因は医療法人ほくと会にあると思うが、

その責任追及について伺う。

仲間一町長 平成26年4月

の開業ができず、住民健診、ガン放射線治療、外来診療等を心待ちにしていた地域住民の皆様にも多大なご迷惑をおかけしたことに、心からお詫び申し上げます。現在、同施設に整備されている医療機器や設備等の維持管理を町が行っており、その管理に係る費用が発生している。町としては、開業していないことで医療機器等が稼働しておらず、不利益をこうむっており、今後その損害について精査し、責任の追及を行う。

嘉数議員 開業できなかったことは、ほくと会に原因がある。それにより維持管理費が発生した。これまで

かかった費用、これからかかるであろう費用をほくと会に請求すべきでは。

町長 全て精査し、弁護士と相談して請求していきたい

たいということである。

町のイベント事業

実行委員会

町長 金武町まつり、健康福祉まつり、産業まつりについては、実行委員会が組織されている。

嘉数議員 町には金武町まつり、共進会、先週行われた、まーさむんフェアが大

きな事業と思うが、その運営方法について実行委員会が開かれているか伺う。

町長 金武町まつり、健康福祉まつり、産業まつり

については、補助団体として実行委員会が組織されており、毎年度、総会を開催している。また、金武町まつりおよび産業まつりにおいては、常任委員会等の下部組織を構成し、まつりに関する詳細な事項を協議しており、ぬちぐすい・まー

さむんフェアに係る健康福祉まつり実行委員会事務局、産業まつり実行委員会事務局、中央公民館まつりを担当している社会教育課、残したい金武町の風景写真・絵画コンクール表彰を担当する企画課では、事務調整会議を実施している。

畜産共進会については、産業振興課が主体となり、農業協、畜産農家への事業説明会を実施している。

パークゴルフ場建設

進捗状況は

町長 現在、場所選定や運営方法などを含め調査している。

嘉数議員 各種団体の集

会に参加すると、パークゴルフ場をつくってほしい旨の要望を耳にする。町は6月定例会で検討すると答えたが、その後の進捗状況を伺

う。

町長 パークゴルフ場は、子どもからお年寄りまで、誰もが手軽にできるスポーツとして人気を集めており、並里区からパークゴルフ場を整備してもらいたい旨の要請を受けている。パーク

ゴルフ場の設置については、一定の面積が必要となることから、現在、他市町村の事例を参考に場所選定や運営方法などを含めて調査している。引き続き検討する。

その他の質問事項

・庁舎増築事業



池原政文 議員

青少年健全育成

町の取り組みは

教育長
夜間パトロールを毎月第3金曜日に実施している。

池原議員

この時期になると未成年者の深夜はいかひが多発し、補導件数が増える傾向にあると警察情報であるが、春には大事な卒業シーズンも控え、未成年者の問題行動が懸念される。そこで、町の夜間活動の取り組み状況について伺う。

比嘉貴一教育長 本町では、金武町青少年健全育成連絡協議会において、各区の区長を支部長とする5つの支

部と共に、町の防犯協会とも連携しながら青少年の深夜はいかひや未成年者の問題行動を防ぐための夜間パトロールを毎月第3金曜日の「少年を守る日」に実施している。また、クリスマス

の夜間パトロールや卒業式終了後のパトロールも行っている。このほか、教育委員会広報紙「くくむ」において青少年の深夜はいかひ防止に関する記事を掲載し、

青少年健全育成を啓発している。

美徳川改修工事

河川上流の擁壁工事も

要請する考えは

町長
伊芸区と調整し、防衛省の事業として対応が可能か要請する。

池原議員

美徳川の改修工事が完了間近になっているが、農業用水路の復元および浄水場付近の法面土砂崩

れ防止対策はどうなっているか。

仲間一町長

農業用水路の復元および浄水場付近の法面土砂崩れ防止対策は、管理者の伊芸区と調整しながら美徳川改修工事の中で農業用水路の復元、法面土砂崩れ防止対策を行う。

池原議員

河川上流区域(米軍提供施設)の擁壁工事も引き続き関係機関に要請する考えはないか。

町長

美徳川上流には、伊芸地区簡易水道施設の浄水場、導水管、取水堰、管理用道路の施設がある。米軍提供施設内にある導水管、取水堰、管理用道路は、防衛省の補助金を受けて平成25年度で施設整備を完了したが、平成26年7月の台風8号の豪雨により、取水堰と管理用道路が被害を受けている状況である。米軍施設内にある同施設を整備するためには、期間を要する。

今後、伊芸区と調整し、防衛省の事業として対応が可能か要請する。

農業基盤整備

シツチ原土地改良内の

農道を改良舗装しては

町長
用地問題が解決できれば整備に取り組む

池原議員

親田原水田の国道付近は、大潮の満潮時になると河川から海水が流入し、農作物に被害がおよぶ

場合がある。当該地域の農家の方々と相談して盛り土を計画してみたらどうか。

町長

親田原水田地域については、これまで大潮の満潮時や台風等により海水が流入する被害があったが、現在施工中の美徳川改修工事において、海水流入防止のための逆止弁等の対策を講じている。盛り土等による対策については、既存の対策による状況をみながら、

不具合が生じた場合に検討していきたい。

池原議員

シツチ原土地改良内の本線農道を改良舗装する考えはないか。

町長

以前から要望があり地権者と調整を行ってきたが、相続等の問題がある用地も多く、舗装整備が困難な状況にある。今後、用地問題が解決できれば、整備に取り組んでいきたいと考えている。

池原議員

シツチ原沖縄自動車道北側の農業用貯水タンクから牛舎付近までの道路を改良舗装する考えはないか。

町長

シツチ原沖縄自動車道北側の農業用貯水タンクから牛舎付近までの道路は、西日本高速道路総合サービス沖縄株式会社から管理移管された道路で、現在未舗装となっているので、平成27年度にアスファルト舗装を計画している。



吉野 潤 議員

プロスポーツ
キャンプ誘致

誘致に向けた考えは

町長
検討する。

吉野議員 金武町ベースポ

ルスタジアムや整備中のサッ
カー場を中心に、プロ野球
チームやプロサッカーチー
ム等の誘致に向けた考えは
ないか。

仲間一町長 金武町ベース

ボールスタジアムはこれま
でに、プロ野球チームの阪
神タイガースや楽天イーグ
ルス、韓国プロ野球チーム
の起亜タイガース、大学野
球チームの東京農業大学な

どが春季練習で使用してい

る。また、サッカーについ
ては、プロサッカーチーム
のコンサドーレ札幌、U・
15日本男子代表、U・18台
湾男女代表などが町の陸上
競技場で練習を実施してき
た。今後も、町内でスポー
ツの高い技術を見学できる
機会を増やすとともに、プ
ロスポーツの誘致も検討す
る。

家畜ふん尿の有効活用

農家に還元された

水肥の年間量は

町長
平成25年度実績で1
万7816トン。

吉野議員 町では、家畜ふ

ん尿貯留施設を町内に設置
し、貯留したふん尿を農家
に肥料(主に水肥)として
利用してもらっているが、
年間の町内6タンクに運び
込まれるふん尿の量につい

て何う。

町長 町の家畜ふん尿処
理施設について、屋嘉地区
に3000トンが2基、伊
芸区に1000トンが1基、
前原地区に1000トンと
3000トンが各1基、宇
謝原地区に4000トンが
1基あり、6基の合計が1
万5000トンとなっている
。平成25年度の搬入実績
については、1万7448
トンとなっている。

吉野議員 農家に還元され

ている水肥の年間量は。

町長 農家に還元されて
いる水肥量は、平成25年度
実績で1万7816トン、
農家数延べ443件となっ
ている。

吉野議員 貯留されている

ふん尿の成分分析は行って
いるか。

町長 家畜ふん尿処理施

設のふん尿の成分分析は平
成25年度に行い、その結果
窒素が2000PPMから25

00PPM、リン酸が120PPM
から330PPM、カリウムが
1300PPMから1700PPM
となっている。

吉野議員 成分分析が行わ

れ結果が出ているというこ
とだが、農家に対する公表
はどう行われているか。

安富祖勸産業振興課長

耕種農家への告知は、平成
17年度ごろに一度行い、分
析に基づいた散布の量とか
は、バキュームカーの運転
手に、サトウキビであれば
10アールあたり1台分とい
うような指示で量を決めて
いる。

町づくりに対する提言
委員会との意見交換

吉野議員 町では、さまざま

な分野から意見を伺い、
町政へ活かそうと4つの民
間による委員会を発足させ
意見交換されていると思う
が、これまでの経過を何う
町長 當山記念館の活用

に関する検討委員会、女性
による町づくり提言委員会、
金武町雇用対策事業検討委
員会、金武町子ども子育て
会議の4委員会・会議は、
7月に発足している。當山
記念館の活用に関する検討
委員会では、8回の会議を
開催しており、12月4日に
答申を受けている。女性に
よる町づくり提言委員会は、
毎月1回会議を開催してお
り、12月22日に第1回目の
提言書の提出が予定されて
いる。金武町雇用対策事業
検討委員会は、4回の会議
を開催しており、12月4日
に中間報告を受けている。
金武町子ども子育て会議は、
毎月1回会議を開催してお
り、12月2日の会議におい
て子ども・子育て支援事業
計画案を取りまとめている。



外間 慎仁 議員

ギンバルホテル開発推進におけるビーチ整備と今後の受け入れ体制

雇用や人材育成をどのように行っていくか。

町長 金武町雇用対策事業検討委員会からの提言の実現に向け取り組む。

外間議員 ギンバルホテル

開発の進捗状況を伺う。

仲間一町長 ホテル開発の

進捗状況は、企業において都市計画法による開発行為許可申請を平成25年10月8日に沖縄県に提出し、平成26年6月25日に許可されている。現在は、造成工事に着手しており、年内に完成

予定となっている。

外間議員

ビーチ整備を含む今後の行政の支援体制や整備の進め方について伺う。

町長

ビーチ整備については、これまで沖縄県に対しては、このまま県として取り組む、県の事業として取り組んでいただくよう要請を行っている。同時に担当課である海岸防災課、北部土木事務所と情報交換を行っているところである。事業調整により、今年度、沖縄県のほうで海岸整備における規模算定等の業務を行う予定である。また、町が整備する背後地については、沖縄防衛局の補助事業を活用した事業採択に向け調整しており、地域住民や観光客に安全で快適な場として活用できるような事業実施に向け取り組む。

外間議員

ギンバルホテル開発、建設後に向けての雇用や人材育成をどのような施策で行っていくのか伺う。

町長 町では、若者をはじめ町民が多く雇用される

ような人材育成と雇用対策等の方策を検討するため、金武町雇用対策事業検討委員会を設置している。同委員会から中間提言として、これまで町で進めてきた雇用対策事業に加え、金武町版ハローワークの設置によるキャリア育成、資格・免許取得のための講座の開設や支援、カウンセリング、就職斡旋、企業向けセミナー等の実施、子育てと就業を両立できる支援制度の充実、国際性豊かな人材育成に向けての幼児からの語学教育等について提言されている。今後、その実現に向けて取り組む。

行政改革と住民サービスの向上

コンビニ交付サービス

について対応されたか

町長 費用対効果やニーズについて引き続き調査を行う

外間議員

金武町行政改革大綱において、町民の視点に立った行政サービスの推進について迅速、正確、公平な行政サービスの向上を図るとあるが、去った議会において提言したコンビニ交付サービスについて迅速に対応されたか。

町長

コンビニ交付については、平成25年12月議会において、外間議員からの提言を受け調査を行った。自動交付機の使用にあたっては、個人ごとのカードが必要となり、マイナンバー制度に基づき平成28年1月に新たなカード様式に変更されることとなる。コンビニ交付については、費用対効果やニーズについて引き続き調査を行う。公民館での交付サービスは、マイナンバー制度の利用開始にあわせ導入に向けた取り組みを行う。

町長の政治姿勢・政策

外間議員

「まちづくりはひとづくり」を政治姿勢、政策に掲げ当選されたが、今後どのような施策で行うのか。

町長

町政運営を行うにあたり課題は人材育成であると考えている。福祉分野においては地域福祉の担い手の育成等、教育分野においては英語教育特区の指定による国際的な人材育成等、農林水産業においては新規就農者や後継者の育成・支援等、商工観光・雇用においては新規企業者やギンバル訓練場跡地への企業へ就職する若者などさまざまな分野における人材育成を図りたい。また、新たに設置した委員会等の意見を拝聴し、町民主体のまちづくりに取り組む。



仲間 政治 議員

ギンバル地域医療施設

ほくと会を運営予定者に
定めた経緯は

町 長
地域住民の健康維持
に貢献し、病床の移
床も可能ということ
で運営予定者とした。

仲間議員
ほくと会を運

営予定者に定めた経緯と協
定および覚書を締結した決
定的な理由は何か。

仲間一町長
ふるさとづく

り整備事業を進めるにあた
り、内閣府等の関係機関と
調整するなか、平成20年度
地域医療施設事業計画策定
時に医療施設の運営につい
て医師の確保等の課題があ

り、事業採択時に運営主体
を選定しておくことが必要
と指導があった。同施設は
19床の病床を有する診療所
であり、新規の病床設置に
は規制があるため中部医療
圏の医療法人の選定を検討
し、ほくと会を運営予定者
とした。同法人が運営して
いる北部病院は、宜野座村
漢那に所在し、宜野座村民
をはじめ金武町民も多く利
用し、地域住民の健康維持
に大きく貢献している。ま
た、病床の移床も可能との
ことからほくと会を運営予
定者として協定や覚書を交
わした。

仲間議員
町の事前調査の

甘さが露呈し、現在の結果
を生じさせている。行政側
に責任はあるのか。

町 長
町は、医療法人ほ

くと会に対し、再三、早期
開業について取り組むよう
促したが、県の業務改善指
導が完了せず、開業のめど

が立たないことから協定に
基づき契約の解除を行った。
協定解除に伴い、補正予算
を計上し、11月から金武町
が施設の維持管理を行って
おり、予算計上しなければ
ならなかったこと、現在開
業していないことについて
町民に対して責任を感じて
いる。今後、このような事
態を招かないよう体制づく
りを強化し、行政が今やる
べきこととして、新規法人
による一日も早い開業に取
り組む。

仲間議員
協定破棄後の開

院のめどについて明らかに
されたい。

町 長
沖縄県医師会およ

び沖縄県医療政策課等の関
係機関に対して状況を説明
し、指導を仰ぎながら新た
な法人を模索していること

である。現在、同施設の

管理運営について、いくつ
かの医療法人に依頼したと
ころであり、中部圏域の医

町長の政治姿勢

建白書が出されているが、
町長の評価は

町 長
沖縄県民の総意が込
められたものと認識
している。

仲間議員
普天間飛行場の

辺野古への移設に伴う新基
地建設反対オスプレイ配備
反対の建白書が政府に出さ
れているが、町長はどのよ
うに評価されているか。

町 長
平成24年9月にオ

スプレイ配備に反対する沖
縄県民大会が開催され、そ
の大会決議の内容を踏まえ
た建白書が策定されており、

平成25年1月に内閣総理大
臣に要請されている。建白
書については、県知事は署
名していないが、県内41市
町村長および議長が署名し
ており、沖縄県民の総意が
込められたものと認識して
いる。

仲間議員
建白書を手交し

た際に、金武町から公的身
分で参加した事実があるか
何う。

町 長
要請について、元

町長が参加している。

宮里安秀企画課長
この要

請には、元町長、現議長の
二人が参加している。

仲間議員
町の費用で出

ているのか。

企画課長
費用に関しては、

町村会のほうで支払いがさ
れている。



伊芸政男 議員

交通安全対策

町道屋嘉60号線の歩道

設置について、経過は

町長 引き続き調査する

伊芸議員 町道屋嘉60号線の歩道設置について、平成21年3月の一般質問の答弁では「今後、人の交通量につきましても詳細に調査を行います。現段階においては厳しい」とのことでしたが、その後の経過について伺う。

仲間一町長 町道屋嘉60号線の歩道設置については、

町としても交通量の多い路線であるので歩行者の安全

対策は必要であると考えている。町ではこれまでに何度か屋嘉区長と現場踏査を行い、歩道設置や安全対策の検討を行ってきたが、用地の問題等の制約があり、具体的な計画がまとまらず、人の交通量調査についても実施できていない。引き続き、歩道設置を含めどのような安全対策が可能か調査する。

伊芸議員 町道屋嘉60号線は県道屋嘉恩納線に接続しており、集落内の道路と違いスピードが出て身の危険を感じる。この地域はアパートや住宅があり、交通事故から身を守る交通施策を考えていかなければならないと思うが。

宝正徳建設課長 町道屋嘉60号線については、何度か現場を確認しており、スピードを出した車両の往来が激しく、歩道は必要だが、隣接する場所に住宅が立ち並

んでおり歩道設置は難しいと思われる。歩道の設置について、道路規格があるが、ガードレールなどで対応できるのか調査しながら対策を検討していきたいと考えている。



歩行者を避けるため、中央へよる乗用車

町長 先日、屋嘉区で行政懇談会を開催した。行政懇談会の前に区長と屋嘉集

落の中、課題の多いところを回り、町道屋嘉60号線を案内され話をした経緯がある。向こうで人身事故もあっ

防災対策

防風ネットの破損や飛砂について早急に対策を講じる必要があると思うが

町長 北部土木事務所へ早急に対策を講じるよう要請を行っている。

伊芸議員 屋嘉海浜公園の浜辺に設置されている防風ネットが、さきの台風によってネットが破られ、骨組みのパイプが根こそぎ抜かれ、歩道には砂が残って無残な状況となっている。早急に対策を講じる必要があると考えるが。

町長 屋嘉海浜公園の浜辺に設置されている防風ネットについては、台風の影響

によりネット等が破損し、また飛砂により海岸背後地への砂の堆積なども見られることから、管理している北部土木事務所へ被害状況を報告しており、台風後の復旧については早急に対策を講じるよう要請を行っている。





仲間昌信 議員

道路新設

町道金武150号線
延長の進捗状況は

町長 国土交通省補助の事業採択に向け取り組む

仲間議員 金武150号線道路延長の進捗状況と今後の方向性を伺う。

仲間一町長 町道150号線の道路延長については、平成17年度に実施設計を行い、整備を計画している。

用地および物件補償等に多額の費用を要することから、補助率の高い補助メニューでの実施を検討しており、国土交通省補助事業を活用

して整備できるよう、継続して事業採択に向けて取り組む。

仲間議員

付近住民の声をもとに、早急に着工してほしいと取り上げたが、平成17年に実施設計を行い9年間、なぜできないのか。

宝正徳建設課長

町のほうでは、国土交通省の事業の中で、町道中川30号線、金武150号線を含めて採択できないかと要望したが、ギンバルの進入路のほうから優先にしたいということがあり、先に進めている状況がある。県のほうに、次年度以降に採択できないか調整していきたいと考えている。

農道の新設

親田原農業道路の進捗は

町長

用地購入ができなかった部分を除き、整備している。

仲間議員 伊芸地域の親田原水田農業道路の建設の進捗状況を伺う。

町長

親田原耕作道整備について、農家や伊芸区からの要望があり、平成21年度に地主説明会と実施設計を行い、平成22年度に用地取得と整備工事を実施している。ただし、整備工事については、用地購入ができなかった3筆を除いた部分において行っている。現在、同意の得られていない用地について、隣接農家のための耕作道となっていることから、伊芸区において交渉を進めている。今後、用地問題が解決でき次第、整備を行う。

仲間議員

平成22年に一部工事は終わっているのか。

安富祖勧産業振興課長

親田原の耕作道について、田んぼに十字形で中央を走るよう計画している。現在、美徳川に並行した山手側の91

メートルが実施済みである。仲間議員 残された部分については用地取得が困難になっているのか。

産業振興課長

水路を先に同意を得て整備し、水路ができ次第、耕作道をやるという話であったが、現在の持ち主が耕作道はいらないうことがあり整備ができない状況となっている。

定住促進

金武中学校の西側の深い沢を埋め立てる考えは

町長

要望がある場合には、目的や必要性を加味しながら検討する。

仲間議員

中川地域の第3団地付近からギンバル開発地までの間に若者が住める住宅地域にする考えはないか。

町長

本町は、都市計画区域外であるため、土地区画整理事業は実施できない

状況であるが、中川地域における若者の定住を促進するため、町の土地利用計画を考慮しながら検討する。

仲間議員

金武中学校の西側にいくつかの深い沢があるが、これを埋め立てる考えはないかあわせて伺う。

町長

埋め立てについては、道路整備やダム建設などは、道路整備やダム建設など、大規模な公共事業等において大量に発生する土砂を有効活用するため、地権者および行政区等の同意に基づき実施した経緯がある。町としては、現在、土地利用計画での計画はないが、今後、当該地域の地権者や行政区からの要望がある場合には、目的や必要性を加味しながら検討する。

その他の質問事項

環境衛生



議員 幸秀 浜崎

金武リゾート株式会社から提出された開発行為

開発基本計画は

町長 開発面積約18ヘクタール、開発期間約10年となっている。

崎浜議員 開発基本計画について説明を。

仲間一町長 今回提出されている開発基本計画の事業目的として、リゾートホテルや、商業施設を整備し、金武町の発展と活性化に寄与することとなっております、開発面積は約18ヘクタールで、開発期間は約10年となっている。基本計画の提出については、町の意見を取り

まとめたうえで県に副申し、沖縄県の関係部局の審査を経て企業に開発行為許可が出されている。

崎浜議員 ホテル、ヴィラ、商業施設について伺う。

町長 ホテルについては、12階建ての190室と16階建て294室。ヴィラについては、109戸。商業施設については、2階建ての建物に計画されている。さらに、分譲マンションについては、4棟で1643室の整備計画となっている。

崎浜議員 800人の雇用が見込まれるか。

町長 雇用については、約800人が見込まれており、第1工区で約300人の計画がされている。その後、工区ごとに雇用される予定である。

北部メディカルセンター

開設の見込みは

町長 中部圏域の医療法人から事業計画等の提出の申し出を受けている。

崎浜議員 現状と年内の開設の見込みについて伺う。

町長 沖縄県医師会および沖縄県医療政策課等の関係機関に対して状況を説明し、指導を仰ぎながら新たな法人を模索しているところである。現在、同施設の管理運営について、いくつかの医療法人に依頼したところであり、中部圏域の医療法人から年内に事業計画および収支計画を提出したなどの申し出を受けている。事業計画等が提出され次第、内容を精査し、手続きを経て一日も早い開業を目指し取り組む。

崎浜議員 議会に対し、覚

書、契約書を出してくれるよう要求しても、出してこなかった。こういう行政の在り方は遺憾に思うが、今は改め、誤解のないような行政に努めてもらいたいと思うが。

町長 今後進める場合、第三者に精査していただき、全員協議会等で議員全員が納得いく形、あるいは町民に周知徹底する中で新たな医療法人のもとで開設できるように取り組む。

新庁舎建設の基金創設

基金づくりの考えは

町長 中長期的展望に立ち、庁舎建設および基金創設を検討する。

崎浜議員 庁舎建設について、町民の間から多くの声が聞かれるが、町には建設の計画をし、それに伴う基金づくりの考えはないか。

町長 庁舎建設の基金創

設について、建設場所、規模、財源、町民意見等を踏まえ、中長期的展望に立ち、今後、庁舎建設および基金創設について検討する。

崎浜議員 具体的な考え、計画はあるか。

町長 役場庁舎建設は、多額な資金が必要になるというのが前提である。次の世代に計画をゆだねるだろうと思うが、基金創設、条例整備等も必要と思う。毎年どのくらいの基金を積み立て、中長期的な展望に立ちながら次の世代に庁舎建設ができるよう企画、条例等を検討していきたい。

その他の質問事項
・屋嘉区における憩いの場づくり



信号機設置

大城 政光 議員

信愛の丘進入路に、早急に信号機を設置する必要があると思うが

町長

引き続き、石川署や県警本部に働きかけていく。

大城議員

信愛の丘から国道329号線への進入路に信号機を設置するように、屋嘉区から平成15年、19年、23年、26年と石川署と金武町に要請をしてきたがいまだに取り上げられていない。この場所では小さな事故が頻繁に起きている。一番大きな事故は、平成21年2月11日に親子が死亡する事故

が起きている。今後、事故を少なくしていくには、早急な信号機の設置が必要と思うが考えを伺う。

仲間一町長

国道329号線と信愛の丘方面への進入路との交差点における信号機の設置については、平成15年に屋嘉区からの要請を受けて以降、石川署や県警本部に対し、設置要請を続けている。石川署からは、信号機設置の最優先地点として毎年度、県警本部へ上申しているとの回答を受けているが、県内各警察署から上申される件数が多いなか、設置できる基数が少な

いため、いまだに設置には至っていない状況である。地域住民の安全のため、今後引き続き、石川署や県警本部に働きかけていく。

大城議員

多くの要請があるということだが、何件ぐらいあるのか。

上原浩総務課長

県内にお

ける信号機設置の要請は、平成23年度101件あり、設置数は16基となっている。平成24年は、68件要請があり、設置数は29基となっている。

大城議員

頻繁に県警まで行き、要望していただきましたが。

総務課長

石川署と相談し、県警のほうに要望していきたい。

畜産振興

ウインドレス豚舎・鶏舎は、地域環境の改善につながると思うが

町長

高率補助の事業導入を模索している。

大城議員

ウインドレス豚舎・鶏舎の利点として、畜舎内悪臭を換気扇排気し、消臭ボックス内の装置を通すことで悪臭が少なくなり、地域環境の改善にもつなが

る。また、国の畜産総合推進課でも、地域から盛り上げ、県に要請することで強い農業づくり交付金など、町が積極的に県、国に働きかけることで地域の環境改善になると思うが。

町長

畜舎整備については、畜舎環境の改善や生産性の向上に向けて、事業主体となる養豚および養鶏農家と連携して、高率補助の事業導入を模索しているところである。強い農業づくり交付金については、国の補助率が2分の1と低く、農家負担が大きいため、その活用に躊躇している状況となっている。町では、受益者負担分の軽減を図るため、本年10月の沖縄県北部農林水産振興センターとの会議において、国の補助と合わせた県の追加補助について要望を行っている。今後、町としては、関係農家と連携を図りながら高率

補助メニューの模索と事務手続きに係る支援を行い、事業導入を推進する。

大城議員

ウインドレス畜産施設を造ってもらいたいと話して4回目だが、前に進んでいない。どうやって実現できるか。

安富祖勸産業振興課長

補助事業の導入については、さまざまな要件がある。事業計画をしっかりと作る、費用対効果、整備費に伴って得る利益が投資した費用を賄えるか。受益農家が、それで資金繰りを含めてやり繰りができるのかということも勘案しないとイケない。要件をクリアしながら、国の動向、県への要請も含めていかないと事業導入にいかないと考えている。総合的にやりながら事業を進めていきたいと考えている。

平成26年 第6回 金武町議会定例会

平成26年第6回定例会を、12月16日から12月19日までの日程で開催されました。
各会計の補正予算や条例改正、工事請負契約などの議案が上程され審議を行った。一般質問には、12人の議員が登壇した。議決結果については、下記のとおりです。

第6回金武町議会定例会附議案件処理結果

件 名	議決結果
平成26年度金武町一般会計補正予算(第5号)	可 決
平成26年度金武町国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	可 決
平成26年度金武町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	可 決
金武町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	可 決
金武町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について	可 決
金武町教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例について	可 決
金武町農業集落排水処理施設の設置及び管理に関する条例の全部を改正する条例について	可 決
平成26年度金武町水道事業会計補正予算(第3号)	可 決
平成26年度金武町有線放送電話事業特別会計補正予算(第2号)	可 決
金武町国民健康保険条例の一部を改正する条例について	可 決
金武町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定について	可 決
金武町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	可 決
金武町保育所設置条例の一部を改正する条例について	可 決
財産の無償譲渡について(金武町立浜田保育所の民営化に伴う建物等の無償譲渡)	可 決
財産の無償貸付について(金武町立浜田保育所の民営化に伴う土地の無償貸付)	可 決
工事請負契約締結について(金武町フットボールセンター(仮称)整備事業建設工事(土木・北側))	可 決
工事請負契約締結について(金武町フットボールセンター(仮称)整備事業建設工事(土木・南側))	可 決
工事請負契約締結について(金武町フットボールセンター(仮称)整備事業建設工事(建築・クラブハウス、南便所))	可 決
工事請負契約締結について(金武町フットボールセンター(仮称)整備事業建設工事(機械・クラブハウス、南便所))	可 決
工事請負契約締結について(金武町フットボールセンター(仮称)整備事業建設工事(建築・施設管理倉庫、北便所))	可 決
工事請負契約締結について(金武町フットボールセンター(仮称)整備事業建設工事(電気・ナイター照明等))	可 決
工事請負契約締結について(金武町フットボールセンター(仮称)整備事業建設工事(機械・散水設備等))	可 決
工事請負契約締結について(並里・金武地区農業集落排水ポンプ施設等整備工事)	可 決
物品の取得について(金武町立小・中学校IT備品購入)	可 決
工事請負契約締結についての議決内容の一部変更について(金武町温泉掘削工事)	可 決
専決処分の承認について(平成26年度金武町一般会計補正予算(第4号))	承 認
金武町固定資産評価審査委員会委員の選任について	同 意
金武町固定資産評価審査委員会委員の選任について	同 意
教育委員会委員の任命について	同 意
副町長の選任について	同 意
平成27年度幼稚園就園奨励費補助金に関する陳情	一部採択
米軍基地問題対策調査特別委員会の設置に関する決議	可 決
議会広報調査特別委員会の設置に関する決議	可 決
議員派遣に関する決議	可 決

沖縄県町村議会新人議員研修会

新人議員研修会が1月29日、自治会館で行われた。

この研修は、当選1回目の議員が対象で講師の沖縄県町村議会議長会の石垣安秀事務局長から「議員は全住民の代表であるといった観点に立って行動し、判断しなければならない」

「予算は1年度限りのものであるが、行政は永遠に続くものであるので後世のことも考慮に入れた判断をしなければならない」「一地域の利害を優先することなく、地域の全体、住民の全部を念頭に入れた判断・発言でなければならない」「議員個人には調査権がない」など議員としての心構えや、「議会の種類」「委員会審査」「質疑・質問・討論の違い」など、議会に関する基本事項についての説明があった。



沖縄県町村議会議員・事務局職員研修会



町村議会議員・事務局職員研修会が2月16日、読谷村文化センターで行われた。

研修では、県企画部市町村課の宮城力課長が「市町村行財政の現状と課題」と題して県内市町村の決算状況、一括交付金による実施事業や同交付金が平成27年度減額された要因が執行率の低さや繰り越しが多いなどと説明し「各市町村で早期に事業着手する必要がある」と話した。

る」と話した。

また、コーソー経営研究所の後久博所長が「6次産業化による沖縄地域の活性化をめざす」をテーマに講演を行い、「農水産物の6次産業化成功には（1）製品の安心安全、（2）これまでにない新しさ、（3）既存品との差異化、（4）顧客にとっての価値、（5）地域にこだわる、（6）製品の姿が重要でありこれらのキーワードを組み合わせ「安心差価地姿＝安心さ勝ち姿」にこだわった製品開発に取り組むべき」と話した。

議会のインターネット中継

金武町議会では、議会本会議をインターネットでのライブ中継および録画配信を行っています。



金武町ホームページ上「議会中継」をクリックで議会中継のページへはいきます。



録画配信は、年度や発言者別の検索が可能となっております。ぜひご利用ください。
※動画視聴には「Windows Media Player 9」以上が必要です

傍聴案内

議会を傍聴してみませんか。

3月定例会は、3月10日(火)開会を予定しております。

日程は変更になる場合があります。決まり次第、有線放送やホームページでお知らせいたします。詳しくにつきましては、議会事務局へお問い合わせください。



平成26年 傍聴者数

3月定例会	15人
6月定例会	20人
9月定例会	6人
12月定例会	11人
臨時会 (2回の合計)	11人
合計	63人

過去5年間の傍聴者数

平成25年	110人
平成24年	187人
平成23年	122人
平成22年	65人
平成21年	54人

※傍聴者数は、傍聴受付名簿より集計し、延べ人数となっております。

金武町議会事務局 有線放送 8-2292 NTT 098-968-2292 FAX 098-968-6274